

# 感染症対策ガイドライン

## この資料について

- この資料は、昨今の新型コロナウイルスの影響の中で、感染拡大防止に努めつつ最大限の企画パフォーマンスを行っていただくために、どのような対策を採ればよいかについて、企画の形態ごとに具体的にまとめた資料です。大まかな対策の概要については、『Almighty vol. 2』『新型コロナウイルス感染症対策（→ p. 8）』に記載されています。
  - なお、下記の対策については、企画内容や使用する施設によって必要となるものが異なります。したがって、下記に記載されている以上の対策を求める場合もあります。同時に、下記に記載されている対策をすべては求めない場合もあります。これらについては、委員会から3月下旬までにご連絡いたします。
- 以下の資料では、おおまかな企画の形態ごとに、対策がまとまっています。記載されていない企画形態における対策については、それぞれの形態ごとの注意点などを参考にまとめていただくと幸いです。

## 目次

<b>キャンパスの屋内から公開する企画について</b>	<b>2</b>
<b>キャンパスの屋内での企画実行における共通の注意点</b>	2
パフォーマンスを行う企画について	3
歌唱を行う企画について	3
集団での楽器の演奏を行う企画について	3
相談会などを行う企画について	4
講演会を行う企画について	4
<b>キャンパスの屋外から公開する企画について</b>	<b>5</b>
<b>キャンパスの屋外での企画実行における共通の注意点</b>	5
パフォーマンスを行う企画について	5
歌唱を行う企画について	6
集団での楽器の演奏を行う企画について	6
<b>キャンパスのステージから公開する企画について</b>	<b>7</b>
<b>キャンパスのステージでの企画実行における共通の注意点</b>	7
バンドで演奏を行う企画について	8
パフォーマンスを行う企画について	8
<b>キャンパス外から公開する企画について</b>	<b>9</b>
配信や録画を集団で行う企画について	9
上記以外の企画について	9
<b>五月祭の準備における注意事項</b>	<b>9</b>
<b>共通方針（参考資料）</b>	<b>10</b>
「密閉」「密集」「密接」（三密）を防ぐ	10
感染経路を断つ	10
そのほかの対策	10

## キャンパスの屋内から公開する企画について

- 本章では、キャンパス内の屋内で行われる企画全体に関わる共通の対策についてまとめたのち、屋内における各企画内容における対策を個別で追加します。

### キャンパスの屋内での企画実行における共通の注意点

#### 各教室への入構人数の制限について

各教室の規模ごとに、教室に入る人数を制限してください。目安は定員 30 人以下の小教室で教室定員の 2～3 割、定員 31 人以上 100 人以下の中教室で教室定員の 2 割程度、定員 101 人以上の大教室で教室定員の 1～2 割程度です。

#### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 企画場所の窓と出入り口を開放し、換気を行ってください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行ってください。その後は、1 時間につき 2 回以上、すべての窓や部屋のドアを 10 分間開放するようにしてください。
- 準備において、企画構成員の入構は必要最小限にしてください。
- 人との間隔は 2 メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 企画場所や控室に入る前に、手洗いやアルコール消毒を行ってください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 食事は感染防止策をとりつつ、できるだけ構外で済ませるようにしてください。

#### 五月祭当日の企画実施にあたって

- 1 時間につき 2 回以上、すべての窓や部屋のドアを 10 分間開放するようにしてください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行うようにしてください。
- 人との間隔は 2 メートル以上離し、必要のない会話は控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで、使用する企画場所をこまめに消毒してください。特に手すり、机、椅子の背もたれ、電気のスイッチ、ドアノブ、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については、委員会からの指示などを参考に、消毒を徹底してください。

#### 五月祭当日の片付けにあたって

- 企画場所の窓と出入り口を開放し、換気を行ってください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行ってください。その後は、1 時間につき 2 回以上、すべての窓や部屋のドアを 10 分間開放してください。控室の場合も同様です。
- 人との間隔は 2 メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 使用し終わった企画場所は、液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。特に手すり、机、椅子の背もたれ、電気のスイッチ、ドアノブ、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については委員会からの指示などを参考に、消毒を徹底してください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 企画実行中に出たごみのうち、マスクなど感染リスクの高いごみについては、企画構成員がそれぞれ持ち帰ってください。

## パフォーマンスを行う企画について

- 本項では、パフォーマンスを行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。

### 五月祭当日のパフォーマンスの実施にあたって

- 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。
- 位置を固定した状態での人との間隔は2メートル以上離すことを目標とし、会話はなるべく控えてください。
  - » 位置を固定した状態でパフォーマンスを行う企画で2メートル以上離れることができず、さらにパフォーマンスの都合上マスクを着用できない場合、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。

## 歌唱を行う企画について

- 本項では、歌唱を行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 発声練習などにおいてもマスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。

### 五月祭当日の歌唱にあたって

- 動画撮影者と歌唱者の距離は、十分に離してください。
- 歌唱中においては、人との間隔を2メートル以上離してください。
  - » ただし、舞台上のスペースの都合上、人との間隔を横方向で2メートル以上離す余裕がない場合には、例外的に横方向の人との間隔を離す距離を必要最低限縮めることを認める可能性があります。また、必要に応じてパーテーションの用意をお願いする場合があります。
- 合唱を行う場合は、後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は、後ろの歌唱者に対して斜め前に立つことを原則とします。
- 指揮者を用意する場合、左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に用意してください。
- 歌唱中も咳エチケットを実践してください。

## 集団での楽器の演奏を行う企画について

- 本項では、複数での楽器の演奏を行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。

### 五月祭当日の演奏にあたって

- 舞台上のスペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討してください。
- 演奏や演出において支障がない場合、マスクを着用してください。
- 動画撮影者と演奏者の距離は、十分に離してください。
- 人との間隔は2メートル以上離し、近距離で向かい合う形での演奏は避けてください。
  - » ただし、舞台上のスペースの都合上、人との間隔を2メートル以上離す余裕がない場合には、一部の奏者間について例外的に距離を1.5メートルまで距離の制限を緩める可能性があります。位置を固定した状態で演奏を行う企画で、2メートル以上離れることができない場合または演奏の都合上マスクを着用できない場合には、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。
- 指揮者を用意する場合、左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に用意してください。
- 演奏中も咳エチケットを実践してください。

## **相談会などを行う企画について**

- 本項では、相談会形式の企画を実行する企画の感染症対策について追加で記載します。

### **五月祭当日の相談会などの実施にあたって**

- 構外にいる企画構成員がオンラインでの相談にあたるなど、教室内の人数は必要最低限としてください。

## **講演会を行う企画について**

- 本項では、講演会形式の企画の感染症対策について追加で記載します。

### **五月祭当日の講演会の実施にあたって**

- 講演者どうしの距離も含めて人との間隔は2メートル以上離し、必要のない会話は控えてください。

## キャンパスの屋外から公開する企画について

- 本章では、屋外における各企画内容における対策をまとめます。

### キャンパスの屋外での企画実行における共通の注意点

#### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 人との間隔は2メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 企画場所や控室に入る前に、手洗いやアルコール消毒を行ってください。
- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 食事は感染防止策をとりつつ、できるだけ構外で済ませるようにしてください。

#### 五月祭当日の企画実施にあたって

- 原則としてマスクを着用してください。
  - » 難しい場合には、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。
  - » ただし、必要性が認められた場合については、例外的に外すことを許可する可能性があります。

#### 五月祭当日の片付けにあたって

- 人との間隔は2メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 使用し終わった企画場所は、液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。特に机や椅子、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については委員会からの指示などを参考に、消毒を徹底してください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 企画実行中に出たごみのうち、マスクや汗を拭き取ったウェットティッシュなど感染リスクの高いごみについては、企画構成員がそれぞれ持ち帰ってください。

### パフォーマンスを行う企画について

- 本項では、パフォーマンスを行う企画の感染症対策について追加で記載します。

#### 五月祭当日のパフォーマンスの実施にあたって

- 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。
- 位置を固定した状態での人との間隔は2メートル以上離すことを目標とし、会話はなるべく控えてください。
  - » 位置を固定した状態でパフォーマンスを行う企画で2メートル以上離れることができず、さらにパフォーマンスの都合上マスクを着用できない場合、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。

## 歌唱を行う企画について

- 本項では、歌唱を行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 発声練習などにおいてもマスクを着用し、咳エチケットを実践してください。

### 五月祭当日の歌唱にあたって

- 動画撮影者と歌唱者の距離は、十分に離してください。
- 歌唱中においては、人との間隔を2メートル以上離してください。
  - » ただし、歌唱場所のスペースの都合上、人との間隔を横方向で2メートル以上離す余裕がない場合には、例外的に横方向の人との間隔を離す距離を必要最低限縮めることを認める可能性があります。また、必要に応じてパーテーションの用意をお願いする場合があります。
- 合唱を行う場合は、後ろの歌唱者の飛沫の影響を受けないように、前の歌唱者は、後ろの歌唱者に対して斜め前に立つことを原則とします。
- 指揮者を用意する場合、左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に用意してください。
- 歌唱中も咳エチケットを実践してください。

## 集団での楽器の演奏を行う企画について

- 本項では、複数での楽器の演奏を行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 演奏の準備の際も含め、人との間隔は2メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。

### 五月祭当日の演奏にあたって

- 舞台上のスペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討してください。
- 動画撮影者と演奏者の距離は、十分に離してください。
- 人との間隔は2メートル以上離し、近距離で向かい合う形での演奏は避けてください。
  - » ただし、舞台上のスペースの都合上、人との間隔を2メートル以上離す余裕がない場合には、一部の奏者間について例外的に距離を1.5メートルまで距離の制限を緩める可能性があります。位置を固定した状態で演奏を行う企画で、2メートル以上離ることができない場合または演奏の都合上マスクを着用できない場合には、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。
- 指揮者を用意する場合、左右からの飛沫も防ぐことのできるようなパーテーションを指揮者の前に用意してください。
- 演奏中も咳エチケットを実践してください。

## キャンパスのステージから公開する企画について

- 本章では、キャンパス内のステージで行われる企画全体に関わる対策についてまとめたのち、ステージにおける各企画内容における対策をまとめます。

### キャンパスのステージでの企画実行における共通の注意点

#### ステージ企画における感染症対策について

- 屋外にステージを設置する際には、学内関係者が集まり「密集」が生じるリスクがあります。「密集」リスク軽減のために、必要に応じて企画場所での声かけを行ってください。また、事前に企画と委員会との間でステージ上でのパフォーマンスの構成や、ステージに上がる企画構成員の人数および立ち位置などについて確認を取り、感染症対策上問題のある場合には、委員会からの指示を参考に、事前に調整を行ってください。
- 一つのステージを複数の企画が時間ごとに使用するという特性上、マイクといった複数の企画が使いまわさざるを得ないものについては、企画と企画の合間にアルコールなどでの消毒を徹底してください。

#### 五月祭前日および当日の準備にあたって

- 控室を利用する場合は、企画場所の窓と出入り口を開放し、換気を行ってください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行ってください。その後は、1時間につき2回以上、すべての窓や部屋のドアを10分間開放するようにしてください。
- 人との間隔は2メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 企画場所や控室に入る前に、手洗いやアルコール消毒を行ってください。
- ウォーミングアップなどで体を動かす際には、身体的接触がないようにしてください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 食事は感染防止策をとりつつ、できるだけ構外で済ませるようにしてください。

#### 五月祭当日の企画実施にあたって

- 舞台上のスペースに対して人との十分な間隔が取れる演目・プログラムを検討してください。
- 液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで、必要箇所をこまめに消毒してください。特に触れる頻度が高いと思われる箇所については、委員会からの指示などを参考に、消毒を徹底してください。

#### 五月祭当日の片付けにあたって

- 人との間隔は2メートル以上離し、会話はなるべく控えてください。
- マスクを着用し、咳エチケットを実践してください。
- 使用し終わった控室は、液体アルコールをティッシュや布に含み軽く拭くことで消毒してください。特に机、椅子の背もたれ、ドアノブ、電気のスイッチなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については委員会からの指示などを参考に、消毒を徹底してください。
- プリント類については、手渡しを避けてください。
- 企画実行中に出たごみのうち、マスクや楽器を拭き取ったティッシュなど感染リスクの高いごみについては、企画構成員がそれぞれ持ち帰ってください。

---

## **バンドで演奏を行う企画について**

- 本項では、バンドで演奏を行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### **五月祭当日のバンド演奏にあたって**

- 演奏や演出において支障がない場合、マスクを着用してください。
- 楽器どうしや企画構成員どうしの距離は2メートル以上離してください。特に歌唱を行う際には、2メートル以上の距離をとってください。
  - » ただし、演出やステージのスペースの都合上、人との間隔を2メートル以上離す余裕がない場合やマスクを着用できない場合には、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。
- 演奏中も咳エチケットを実践してください。

## **パフォーマンスを行う企画について**

- 本項では、パフォーマンスを行う企画の感染症対策について追加で記載します。

### **五月祭当日のパフォーマンスの実施にあたって**

- 演目間の移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。
- 原則としてマスクを着用し、また咳エチケットを実践してください。
- 位置を固定した状態での人との間隔は2メートル以上離すことを目標とし、特に歌唱を行う際には、2メートル以上の距離をとってください。
  - » 位置を固定した状態でパフォーマンスを行う企画で、演出やステージのスペースの都合上、2メートル以上離れることができず、さらにパフォーマンスの都合上マスクを着用できない場合、事前に大学側と相談したうえで、フェイスシールドやパーテーションでの代替を検討します。



## キャンパス外から公開する企画について

### 配信や録画を集団で行う企画について

- 配信や録画を集団で行う企画については、企画内容ごとに「キャンパスの屋内から公開される企画」または「キャンパスの屋外から公開される企画」の各項目に記載の注意事項に応じた対策を行ってください。
  - » 対策の具体例については各形態に記載されている例を参考に記入してください。
- 外部の施設を利用する場合には、その施設の利用の条件を確実に遵守してください。

### 上記以外の企画について

- 企画実行そのものにおいて企画構成員が集合する必要のない企画については、次の章の「五月祭の準備における注意事項」に注意してください。特別な申請は不要です。

## 五月祭の準備における注意事項

- ここからは、申請はお願いしないものの、企画出展の準備にあたって気をつけていただきたい対策を記載します。
- 屋内で集まって準備・練習を行う際には、換気を十分に行ってください。具体的には、1時間につき2回以上、すべての窓や部屋のドアを10分間開放するようにしてください。窓がない場合は、機械換気を十分に行うようにしてください。
- 1人でできる準備・練習などは、できるだけ集まらずに、企画構成員の自宅や近所の公園などで行ってください。
- 準備・練習に際して集まる必要がある場合は、必要最低限の人数で準備・練習を行ってください。
- 人との間隔をできる限り2メートル程度（お互いに手を伸ばしてもぶつからない程度）離れて準備・練習を行ってください。
- 準備・練習中の会話は最低限としてください。
- 特に集合して準備や練習を行う場合には、演奏などでマスクを着用することが困難な場合を除き、必ずマスクを着用するようにしてください。
- 手洗い・消毒を十分に行ってください。準備・練習にあたっての手洗いを30秒以上行ってください。
- 東京大学が策定する「[新型コロナウイルス感染拡大防止のための東京大学の活動制限指針](#)」が、レベル0.5以下の際に準備・練習を行ってください。
- 練習や準備にあたり、外部の施設を利用する場合には、その施設の利用の条件を確実に遵守してください。
- 健康状態を保ち、繁華街などの感染リスクの高い場所にはできるだけ行かないようにしてください。また、準備・練習にあたって、発熱の症状があるなど、新型コロナウイルスの感染の可能性が少しでもある場合や、新型コロナウイルスの感染者もしくはその疑いがある者との濃厚接触が疑われる場合には、五月祭当日に本郷・弥生キャンパスを使用するかにかかわらず、自宅で待機するようにしてください。
- 本郷・弥生キャンパスに入構して五月祭当日に企画実行を行う企画の構成員は、五月祭当日の1週間前から検温を必ず行ってください。詳細は後日お知らせします。

## 共通方針（参考資料）

- 全体の方針として、外部団体のガイドラインや研究成果をもとに、集団感染（クラスター）の発生のリスクが高いと考えられる、「密閉」（換気の悪い密閉空間である）、「密集」（多くの人が密集している）、「密接」（互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件（いわゆる「三密」）が起こる環境の発生を極力防止することを目指します。
- 同時に、現在の感染経路として想定されている「飛沫感染」および「接触感染」のリスクを回避し、感染経路を断つことを目指します。

### 「密閉」「密集」「密接」（三密）を防ぐ

#### 「密閉」を避ける

- 換気を十分に行います。具体的には、屋内の場合、1時間につき2回以上、すべての窓や部屋のドアを10分間開放するようにしてください。教室に窓がない場合は、機械換気を十分に行うようにしてください。

#### 「密集」を避ける

- 施設の特性や企画の規模や形態を十分に踏まえ、企画場所への入構人数の制限を行ってください。
- 人との間隔をできる限り2メートル以上（お互いに手を伸ばしてもぶつからない程度）離すように企画準備、企画実行、片付けを行うようにしてください。
- 演目間移動やパフォーマンス中の配置移動などによって一時的に2メートル以上の距離を取れない場合は、密集する時間なるべく短時間で済むようにパフォーマンスの内容を調整してください。

#### 「密接」を避ける

- 位置を固定した状態でパフォーマンスを行う企画のうち、2メートル以上離れることができない、マスクを着用できないなどの事情がある企画は、事前に委員会に相談した上で、フェイスシールドやパーテーション、もしくはそれに代用できるものを用意してください。
- 企画場所での会話は最低限にしてください。

### 感染経路を断つ

#### 飛沫感染を防ぐ

- 演奏や体を動かすパフォーマンスなど、マスクを着用することが困難な場合を除き、必ずマスクを着用するようにしてください。
- トイレでは、トイレの蓋を閉めて汚物を流すと同時に、ペーパータオルや個人のハンカチなどを使うようにしてください。
- 上記の「密閉」「密集」「密接」（いわゆる「三密」）に対するそれぞれの対策を徹底してください。

#### 接触感染を防ぐ

- 手洗い・消毒を十分に行ってください。手洗いは30秒以上行うようにしてください。
- 使用する企画場所は、アルコール消毒液などをティッシュや布に含み軽く拭くことで、こまめに消毒してください。特に机や椅子の背もたれ、ドアノブ、マイクなど、触れる頻度が高いと思われる箇所については、委員会で事前にリストをつくるなどして、消毒を徹底します。また、企画場所の使用後は、特に注意して消毒を行ってください。
- マスクなど感染リスクの高いごみについては、企画構成員が持ち帰ってください。

### その他の対策

- 企画責任者は、各企画における感染症対策の遂行の責任を負い、適切に対策を実行してください。
- 休憩時間の食事などではできるだけ構外で済ませてください。構外で事前に食事をとる場合も、向かい合わずに食べたり、大皿からとる形にならないようにするなど、リスクを回避するようにしてください。